

企業紹介

三宝株式会社

取締役営業部長 澤山虎雄
(平成三年経営学部卒)

91年経営学部卒業の澤山虎雄と申します。

今回は貴重な機会をいただきありがとうございます。私自身と会社の紹介をさせていただきます。

“とらお”という名前から、どんな強面の人なんだろうとよく言われます。実際はこんなにおだやかな初老の中年男性です。メールや電話だけのやりとりが続き、実際初めて対面する機会があると、名前とのギャップがありすぎるとよく言われます(笑)。

昔から下の名前で呼ばれることが多く、学生時代は先輩・後輩区別なく、「とらちゃん」とか「とらお」とか呼ばれてます。あつ、後輩で「とらちゃん」と呼ぶのは基本女の子だけでした。男性は「とらおさん」と呼んでましたね。当然です！名前あるあるとして、ほぼすべての人から「お父さんはタイガースファン？」



「あなた寅年？」と聞かれますが、どちらも全く違います。ではとらおという名前はどこから？

ただ、趣味で乗っている愛車のオートバイはトライアンフというメーカーのタイガーというオートバイに乗ってますが(これ本当です)。

この名前のおかげで、初対面の人にも名前を覚えていただきやすいのは営業という立場ではとてもありがたいですね。名付けた父親の「龍雄」には感謝しています。

さて、そろそろ会社の紹介に入りたいと思います。私は現在東口六又陸橋近くにある、三宝株式会社という会社に勤めております。

三宝株式会社の業務内容としては次の3つのセクションがございます。

まず一つめは、特注のファイル・バインダーを企画・製造しているセクションです。主に生損保会社を使う保険証券入れや、自動車販売会社の車検証入れなどです。中国の寧波というところに契約工場があり、そこで生産を行います。私もよく寧波に出張に行きますが、中国語は全然しゃべれるように

はなれません。

現地に日本語できる中国人スタッフがいるためです。「あなたのせいで私は中国語ができるようにならないんだ！」と言ったら「あなたの努力が足りないだけだ！大学までなにを勉強してきたんだ。」と言われてしまいました。その通りですね。明治大学に申し訳ないです。

二つめのセクションは、企業が行うキャンペーンなどのセールスプロモーショングッズの企画・製造です。そのキャンペーンに最適な商品を国内外のさまざまなネットワークから探し出し



提案・販売するセクションです。

ボールペンなどの低単価のものから、周年記念や卒業記念などに使う比較的高額な商品まで、扱うジャンルは

多岐にわたります。商品知識をいかに持っているかがとても重要なので、日々新しい商品を探し求めています。

三つめのセクションは、小売店への卸売業です。オリジナルのボールペンや、家庭雑貨など、特許商品やちよつ

と特徴ある商品を銀座伊東屋や東急ハズ・LOFTなどの専門店などに卸しているセクションになります。

また、本業とは別に、大先輩(明治ではないです)の方々と一緒に、ビジネスマッチングの会社のお手伝いをしております。

その会社では、びっくりするような人脈をお持ちの方々とお話しができて、とても勉強になることばかりです。実はその会社の代表の方に柳田先輩をご紹介いただき、この豊島支部に参加するようになりました。

この会社は売りたい優れた商品は持っているけど、売り先が見つからないとか、この企業に入り込みたいけどネットワークを持っていないなどという企業に、幅広い人脈を駆使し企業と企業とを結びつけるという仕事です。完全成功報酬型にしているため、売上が成立するまで、費用は一切かからないというのが特徴です。

これを読まれている諸先輩方、後輩の皆様、なにかございましたら、一声おかけください。明治大学特別価格にて提供させていただきます。

今後明治大学校友会には積極的に参加して行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。



明治大学校友会豊島区地域支部会報

豊島支部 NEWS

2019年 第62号

豊島区地域支部の三大自然の「暑気払い」を開催

校友の皆さま、秋たけなわの好季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。日頃は、校友会豊島区地域支部の活動・事業業へのご協力いただき、御礼申し上げます。

令和元年8月3日（土）に豊島地域支部の三大自然の一つである恒例の『2019年度暑気払い』をホテル第一イン池袋のレストラン「ピノ」で開催し、64名の皆さまにご参加いただきました。

当日の進行は、長尾睦子副支部長と中西大輔常任幹事の司会により進められ、長尾副支部長が監督を務める体育会ゴルフ部女子が、第42回全国大学女子対抗戦で創部以来初の日本一になったことが報告され、大いに盛り上がる中でスタートしました。

白砂正人豊島区地域支部長の開会あいさつでは、明治大学校友会2019年度支部長・幹事長・地域支部長・本部長・本部員懇談会での内容とし



て、明治大学を取り巻く状況や、十年間校友会長を務められた向殿政男先生から北野大会長に引き継がれたことなどが報告されました。

三浦昭生シニアフェローの厳しい暑さを吹き飛ばすような乾杯のご発声により、多彩な校友の面々による楽しい会食・歓談になりました。

今年も公務で多忙な中、高野之夫豊島区長が参加いただき、東アジア文化都市2019豊島の事業や、区内の各種文化施設・公園整備などについてお話がありました。柳田好史副支部長から、NPO法人としまNPO推進協議会が東アジア文化都市2019豊島パートナーシップ事業の一環として取り組んでいる「川本喜八郎人形展 ふたつの三国志」項羽と劉邦」と「持永只仁と川本喜八郎 映画上映会&シンポジウム」の告知がありました。



また、長橋圭一都議会副議長、和田輝夫校友会副会長、稲森浩一中野区地域支部長、練馬区地域支部から北村嘉伸様、吉岡光子様はじめ豊島区地域支部を盛り立てていただいている多くの皆さんにもご参加いただきました。

今年、豊島区在住・在勤者である澤山虎雄様、芝崎拓様、長谷川悦子様、倉持由夏様、東京都北部支部の柴田一憲監査委員、マンドリン倶楽部OB会メモリアルオーケストラの伊藤直孝団長の6名の初参加の方々にご挨拶いただきました。

最後に、橋爪孝利常任幹事のリードにより参加者全員で校歌を合唱し、猪瀬典夫幹事長から今後の行事予定の紹介と閉会あいさつ、兼村仁副幹事長の三本締めで閉会しました。

報告：幹事長 猪瀬典夫





明治大学体育会ゴルフ部女子が創部以来初の日本一！

2019年6月20・21日北海道の『苫小牧ゴルフリゾート72エミナゴルフクラブ南コース』で行われた第42回全国大学女子対抗戦で明治大学体育会ゴルフ部女子が、創部以来初の日本一になりました。初日は2位に5打差をつけてトップに立ち、2日目も並居る強豪校の猛追を受けながらも一打差という接戦を制しました。皆様方のご支援に心から感謝申し上げます。秋季リーグ戦も優勝を目前し頑張っています。



(明治大学体育会ゴルフ部 女子監督長尾 睦子)



豊島区地域支部では、毎年3回のイベントを開催し、校友の親睦を図っています。それは、2月の新春の会(地球飯店)、8月の暑気払い(第一イン池袋)、11月の総会(としま産業振興プラザ)で、校友が集い、盛大に催されています。年配の校友からは、懐かしい昔の仲間に会い、

話をしたので、懇親会開催の強い要望がありました。このため、概ね60歳以上のシニアを対象にミレイ会を発足し、主として、



イベントの無い月の第2火曜日に懇親会を開催し、2年経過しました。

第12回のミレイ会は、9月10日午後6時に巣鴨

の「たけやま」(校友池田耀さん経営)に12名が集まり、貸し切りで2時間余り、先輩方の昭和の懐かしい話で盛り上がりました。今回は、練馬地域支部の吉岡さんが、女性で、初めて参加し、楽しんで頂きました。次回は、12月10日、池袋西口のロサ会館2階「さど」です。

なお、次回から担当幹事が、後藤孝男から、山本守敏さんに代わりますので、よろしく願います。

(幹事 後藤孝男)

久保田孝喜寿記念コンサート開催のご報告とポピュラーコンサートのご案内

去る7月13日、豊島区東京芸術劇場コンサートホールにて、久保田孝氏の喜寿を記念するコンサートが行われ、当日は

明治大学校友会豊島区地域支部会員の皆様をはじめ、大勢のお客様にご来場いただきました。

久保田孝氏は明治中学入学後音楽部(現マンドリン部)に所属し、明治大学マンドリン倶楽部卒業後、ドイツ・オーストリアへ音楽留学し、現在もクボタフイロマンドリーネンオーケスターの主催をはじめ、精力的に活動をされています。

また、クボタフイロマンドリーネンオーケスターは、来る11月3日(日)、豊島区南大塚ホールにて、東アジア文化都市2019 豊島パートナーシップ事業としてポピュラーコンサートを行う予定です。

問い合わせ先：TEL042-422-6368 甲
mail: philomandoline@yahoo.co.jp

クボタフイロマンドリーネンオーケスター事務局

メモリアルオーケストラ演奏会のご案内

来る10月13日(日)北区滝野川会館にて、豊島区地域支部が後援している「明治大学マンドリン倶楽部OB会メモリアルオーケストラ」の第4回定期演奏会が開催されます。

第一部は「アコースティックで聴くマンドリンサウンドIV」、第二部は明治大学マンドリン倶楽部出身の和知秀樹氏をゲストプレーヤーとしてお招きし、「魅惑のト

レモロ」と題し様々なジャンルの曲目を演奏いたします。

問い合わせ先：携帯 090-8303-6540 松本 E-mail: munc.ob90@gmail.com

【参加者募集】東京六大学野球秋季リーグ明立一回戦&豊島立教会との懇親会

恒例の明立戦応援の時期がやってまいりました。10月26日(土)11時試合開始。春秋連覇を目指して神宮球場で「白雲なびく駿河台」を歌い、応援しましょう。

試合後、豊島立教会の皆さんと懇親会「勝っても、負けても、紫友会」を開催します。奮ってご参加願います。参加希望の方は、猪瀬典夫幹事長宛に10月19日までにご連絡下さい。FAX:03-3981-3934、携帯電話:090-5579-8856

【協力をお願い】

豊島区地域支部では、身近な社会貢献活動として、三浦昭生シニアフェローを中心に、使用済み切手・書き損じハガキを豊島区民社会福祉協議会へ寄付、ベルマークを豊島区教育委員会へ寄付を行っています。毎月開催している役員会で収集とりまとめしていますので、校友の皆さんも収集活動にご協力の上、地域支部役員へお届け下さるようお願い申し上げます。



明治魂を伝える

平成19年商学部卒業

社会保険労務士／外資系金融機関

芝崎 拓

私は埼玉県の川口市で生まれ、蕨市の県立高校から明治大学商学部へと進みました。高校時代はろくに学校も行かず友達と遊び惚け、単位はギリギリ、ここには書けないような高校生にあるまじきことばかりしておりました。当然勉強も全くできず、それでも周りに流され大学進学を志し浪人の果て、なんとか受かった大学の中で一番偏差値の高いということとで明治大学に入学することとなりました。大学時代もバイト、合コン、ギャングブル：と全く褒められたものではないですが、ある意味学生らしい怠惰な学生生活を送り、そのまま周りに流され社会に飛び出して行きました。財関係の不動産会社で8年、出版社で5年、そして金融機関で約2年経験し今に至ります。

卒業から十数年の時を経て、今では多少世間を知り、それなりの常識を身につけ、ある程度親の気持ちや社会の視点を知り、当手を振り返ると改めてなんて淫らで意味の無い青春を送っていたのだらうという後悔と、両親への申し訳なさ

ばかりあり、こんな私が何を明治魂など語ろうかと思いつながら、せつかく素晴らしい機会を頂きましたので、私なりの母校への愛情と感謝を綴らせて頂きます。

大学在学中は前述のような生活の中で母校に対しての思い入れはあまりなく、明治の名前があれば周りに流され応援し、明治出身の有名人をちよつと気にするくらいのものでした。社会に出てからはそれも次第に薄れていき母校とは疎遠になっていきました。ただ今思い返せば、人生のターニングポイントで多くの同窓生の姿がありました。

社労士を志すきっかけをくれた人、不動産会社時代に社会人としての在り方



を教えてくれた人、出版社時代に社の改革の道筋を示してくれた人、転職を後押ししてくれた人：

そんな素晴らしい方々に囲まれて本当に明治卒で良かったというのほもちろんですが、金融機関で個人事業主としてビジネスをするようになった今日、強く感じるのは、「明治卒」という冠をもつて良かったということとです。

「明治卒」というだけで、多くの同窓生と交流ができて人脈を繋げられる。この紙面をご覧になっておられる皆様は何かを当たり前のことを：とお思いかと思いますが、よくよく考えれば「明治卒」という言葉自体には何の実体もないのです。社会の中で人と人が繋がる上では通常

経済的メリットのような合理的な理由が無ければわざわざ時間を割くということは有り得ません。ここに来るまでそれが当たり前でした。なのに「明治卒」だから、メリット云々関係なく人と繋がれたり場が和んだり連帯感が生まれたり：合理主義ばかりの社会の中で理屈

っぽく生きてきた私にとっては新鮮です。多くの方は約4年間在学し、卒業してから何十年と経ち当時の面影なんて全く無い人ばかりなのに。参加したことで友人も増え、今私は学生時代の比ではなく明治が大好きですし、その人脈をビ

ジネスにおおいに利用しました友人を増やし人生を充実させています。

長々となりましたが、私が伝えたいことは、「明治卒」のできる事がたくさんありそれにおおいに感謝していること、そしてそれを知らない卒業生にそれを伝えていくべきだということです。

郵送される会報やウェブ・SNSの告知を見て、「よっしゃ明治の交流会があるから行ってみよう」、なんて初参加の人は皆無なわけで、ほとんどは同窓からの声掛けで俺も私も行くからまあ行ってみようかな、というのが最初のきっかけだと思います。それをきっかけに同窓の輪の存在を知るのだと思います。

こんな私が言うのもなんですが、これをご覧になっている同窓の皆さん、次の機会に出席すると新たに一人、強引に同窓をそこへ連れて行きましょうね、というわけでこの声掛けで少しでも同窓の輪が増えて、私の淫らな学生生活のお詫びとその恩返しができますことを切に願っております。

最後に全ての同窓の皆様へ感謝と更なるご活躍を願っております。このような機会を頂きありがとうございました。